



“さくら パンジー チューリップ ツマグロヒョウモン しんぶんし”

園長 高杉 洋史



さくらとチューリップはタイミングよく咲いてもらうのが難しい花で、卒園式にはまだ固い蕾で、入園式には花盛りをすぎしてしまうのが例年です。2022年は卒園式を待つかのようにはさくらんぼの花が一斉に咲き、チューリップも早い蕾が何輪か咲いてくれました。さくらんぼの花はソメイヨシノに比べれば地味ですが、入園式の頃には小さくて緑色の実ができるはずですが5月の連休の頃、色づいて食べ頃になるのですがそれを待たずにままごと遊びの材料になります。子どもたちにも小鳥たちにも大人気のさくらんぼです。

入園式の頃のパンジーは花盛りで、お母さんのもとにも子どもたちからかわいい花束が届くことでしょう。そろそろツマグロヒョウモンという名前の蝶が飛び始め、これまた可愛い幼虫が歩きはじめます。4月下旬から6月にかけて虫好きな子どもたちはせつせと飼育を開始します。パンジーやビオラは可愛く美しく色鮮やかなので園児の花摘みのために植えているのですが、ツマグロヒョウモンの餌としての役目も大きいのです。虫が好きでない方は目をつむって、大目に見てください。サナギになるとほとんど動かなくなり、体側に金色の模様ができ、なかなか美しいです。虫なのに金属光沢のピカピカの金色です。子どもたちは幼虫からサナギに変身し蝶の姿に変わるまでじーっと一ヶ月近く眺めています。不思議なんですよ。大人にとっても不思議です。

特にサナギの間は餌も食べなければ水も飲まないし、虫かこの天井にぶら下がっているだけなのですが、つつけば「いやいや」をするように動かし、羽化したら大変身だし。

タイトルに「しんぶんし」の話が唐突に出てくるのには訳があります。玄海ゆりの樹幼稚園は今年度で、宗像市立玄海幼稚園、玄海東幼稚園を引き継いで15年目が始まります。ツマグロヒョウモンの飼育や「しんぶんし」で剣を作る遊びはその頃から子どもたちに伝わってきた遊びなのです。しっかりと剣にするには端から丁寧に巻く必要があり、それなりの練習がいるのですが、見様見真似で上手になっていきます。

ところで、幼稚園の先生の中にも虫が苦手な先生はもちろんいます。でも大丈夫なんです。クラスの中には何人か虫博士がいて、その子達が何から何までやってくれます。今年度も虫の世話をはじめて子どもたちにお手伝いをしてもらうことはたくさんあります。可愛い助手たちの活躍に期待しています。ところでところで新聞紙をひらがなで「しんぶんし」と書いたのはなぜでしょう。ああ年度初めから蛇足で終わりました。ではまた。

